



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 エステールホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7872 URL <https://www.estelle.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 丸山 雅史
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 横内 達治 TEL 03-6628-8480
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	14,933	△0.8	△317	—	△188	—	△348	—
2024年3月期中間期	15,056	8.0	△365	—	△190	—	△108	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △193百万円（—%） 2024年3月期中間期 △54百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△33.27	—
2024年3月期中間期	△10.33	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	32,234	12,155	36.9	1,136.68
2024年3月期	32,032	12,629	38.7	1,183.65

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 11,909百万円 2024年3月期 12,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,200	1.6	670	310.1	700	130.5	200	—	19.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	11,459,223株	2024年3月期	11,459,223株
2025年3月期中間期	981,653株	2024年3月期	981,653株
2025年3月期中間期	10,477,570株	2024年3月期中間期	10,521,136株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算期に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(会計方針の変更)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算期に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しに足踏みがみられるもののインバウンド需要が戻りつつあり、外食・旅行などの民間消費が伸びるなど国内需要を中心に緩やかに回復しており、雇用所得環境の改善による景気回復が期待されております。しかしながら、世界的な資源価格の高騰、為替の大きな変動、賃上げに伴う人件費の増加など、価格転嫁による物価の高騰による景気への影響は依然予断を許さない状況にあります。

このような環境の中、当社グループは、店頭販売や通信販売のさらなる拡充や、お客様の購買回復に向けた販売促進を積極的に展開してまいりました。また、社内業務の効率化、平準化に取り組むとともにお客様のニーズに対して、きめ細やかな対応をするため、品質・価格・品ぞろえを中心に店舗政策に取り組み、人材育成を強化することによりお客様満足度向上に努めてまいりました。

当社グループの当中間連結会計期間の業績は、売上高が、149億33百万円(前年同期比0.8%減)となりました。営業損益は、3億17百万円の損失(前年同期は3億65百万円の損失)となり、経常損益は、海外子会社における為替差益などにより1億88百万円の損失(前年同期は1億90百万円の損失)となりました。親会社株主に帰属する中間純損益は、3億48百万円の損失(前年同期は1億8百万円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

① 宝飾品

当セグメントでは、70周年記念キャンペーンなどお客さまとのコミュニケーションを強めていく取り組みや、人材育成の強化を進めてまいりましたが、宝飾セグメントに対する影響は限定的な範囲にとどまり、外部顧客への売上高は、122億72百万円(前年同期比2.6%減)となり、セグメント損益は、2億35百万円の損失(前年同期は1億81百万円の損失)となりました。

② 眼鏡

当セグメントでは、国内小売事業では、店頭での打ち出し等の見直しや人材育成の強化を進めたことにより、また、海外子会社での卸事業が伸びたことにより、売上高は、15億66百万円(前年同期比19.4%増)となり、セグメント損益は90百万円の利益(前年同期は18百万円の損失)となりました。

③ 食品販売・飲食店

当セグメントでは、よりオリジナリティのある商品開発や人材育成に取り組むなど、マーケットの変化に対応してまいりましたが、外部顧客への売上高は、10億93百万円(前年同期比4.3%減)となり、セグメント損益は、原価率の増加や新規出店に伴い販売費及び一般管理費の増加もあり、1億74百万円の損失(前年同期は1億67百万円の損失)となりました。

当中間期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール(株)	キンバレー(株)	エステールホールディングス(株)
前期末店舗数	349	68	35
新規出店	2	3	—
閉店	5	1	—
当中間期末店舗数	346	70	35

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の320億32百万円より2億2百万円増加し、322億34百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加6億20百万円及び商品及び製品などの棚卸資産の増加1億17百万円と、受取手形及び売掛金の減少5億62百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末の194億2百万円より6億76百万円増加し、200億78百万円となりました。主な増減は、長期借入金の増加7億53百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加1億60百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末の126億29百万円より4億74百万円減少し、121億55百万円となりました。主な増減は、剰余金の配当2億82百万円及び親会社株主に帰属する中間純損失3億48百万円などによる利益剰余金の減少6億31百万円などです。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の62億63百万円より6億22百万円増加し、68億86百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1億42百万円のプラス(前年同期は2億40百万円のマイナス)となりました。これは主に売上債権の減少5億70百万円及び減価償却費1億87百万円の資金増加と、棚卸資産の増加1億17百万円及び未払金の減少1億16百万円の資金減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1億77百万円のマイナス(前年同期は1億91百万円のマイナス)となりました。これは主に固定資産の取得2億16百万円の支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは6億31百万円のプラス(前年同期は8億94百万円のプラス)となりました。これは主に長期借入金の増加9億14百万円(純額)の収入と、配当金の支払2億82百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、現時点において2024年5月15日に公表致しました業績予想の変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,413	7,034
受取手形及び売掛金	2,547	1,985
商品及び製品	11,367	11,354
仕掛品	1,634	1,543
原材料及び貯蔵品	3,647	3,868
その他	219	241
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	25,830	26,026
固定資産		
有形固定資産	1,598	1,622
無形固定資産	116	131
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,327	2,276
その他	2,161	2,178
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	4,487	4,454
固定資産合計	6,202	6,208
資産合計	32,032	32,234
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,728	3,708
1年内返済予定の長期借入金	3,896	4,057
未払法人税等	102	86
賞与引当金	404	425
その他	2,532	2,330
流動負債合計	10,664	10,609
固定負債		
長期借入金	6,486	7,239
役員退職慰労引当金	743	754
退職給付に係る負債	1,400	1,350
資産除去債務	104	121
その他	3	2
固定負債合計	8,738	9,469
負債合計	19,402	20,078

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	7,917	7,285
自己株式	△662	△662
株主資本合計	12,210	11,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	34
為替換算調整勘定	154	290
退職給付に係る調整累計額	2	5
その他の包括利益累計額合計	191	330
非支配株主持分	228	246
純資産合計	12,629	12,155
負債純資産合計	32,032	32,234

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	15,056	14,933
売上原価	6,711	6,587
売上総利益	8,344	8,346
販売費及び一般管理費	8,710	8,664
営業損失(△)	△365	△317
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	2
受取手数料	16	16
為替差益	178	141
その他	7	6
営業外収益合計	205	167
営業外費用		
支払利息	23	26
その他	6	11
営業外費用合計	30	38
経常損失(△)	△190	△188
特別利益		
投資有価証券売却益	43	-
助成金収入	0	1
特別利益合計	44	1
特別損失		
減損損失	21	39
助成金返還損	-	36
特別損失合計	21	76
税金等調整前中間純損失(△)	△167	△262
法人税等	△39	70
中間純損失(△)	△127	△332
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△19	15
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△108	△348

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△127	△332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	-
為替換算調整勘定	104	136
退職給付に係る調整額	△4	3
その他の包括利益合計	72	139
中間包括利益	△54	△193
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△35	△209
非支配株主に係る中間包括利益	△19	15

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△167	△262
減価償却費	207	187
減損損失	21	39
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14	△45
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11	11
賞与引当金の増減額(△は減少)	9	21
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	23	26
助成金収入	△0	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△111	570
棚卸資産の増減額(△は増加)	△318	△117
仕入債務の増減額(△は減少)	△13	△23
投資有価証券売却損益(△は益)	△43	-
未払金の増減額(△は減少)	67	△116
助成金返還損	-	36
未払又は未収消費税等の増減額	101	△45
その他	56	13
小計	△174	289
利息及び配当金の受取額	3	6
利息の支払額	△24	△27
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△46	△90
助成金の受取額	0	1
助成金の返還額	-	△36
営業活動によるキャッシュ・フロー	△240	142
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	50	-
定期預金の預入による支出	△34	△20
定期預金の払戻による収入	33	35
固定資産の取得による支出	△279	△216
敷金及び保証金の差入による支出	△43	△9
敷金及び保証金の回収による収入	162	69
貸付金の回収による収入	15	-
その他	△96	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△191	△177

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,580	3,100
長期借入金の返済による支出	△2,305	△2,185
自己株式の取得による支出	△92	-
配当金の支払額	△286	△282
財務活動によるキャッシュ・フロー	894	631
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	481	622
現金及び現金同等物の期首残高	6,528	6,263
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,010	6,886

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、当中間連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月15日 取締役会	普通株式	286	27円00銭	2023年3月31日	2023年6月14日	利益剰余金

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月27日 取締役会	普通株式	282	27円00銭	2024年3月31日	2024年6月13日	利益剰余金

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	中間連結 財務諸表 計上額 (注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	12,601	1,312	1,142	15,056	—	15,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,601	1,312	1,142	15,056	—	15,056
セグメント損失(△)	△181	△18	△167	△367	1	△365

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額 1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、中間連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「宝飾品」及び「食品販売・飲食店」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を認識し、それぞれ、14百万円、7百万円を特別損失に計上しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	中間連結 財務諸表 計上額 (注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	12,272	1,566	1,093	14,933	—	14,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,272	1,566	1,093	14,933	—	14,933
セグメント利益又は損失 (△)	△235	90	△174	△319	1	△317

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額 1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、中間連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「宝飾品」及び「食品販売・飲食店」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を認識し、それぞれ、19百万円、20百万円を特別損失に計上しております。